２６．１１．６
杉並区広報課

有吉佐和子歿（ぼつ）後30年記念特別展

いのちの証
―書くこと、家族、杉並―

現在、「有吉佐和子歿後30年記念特別展」が杉並区立郷土博物館（杉並区大宮1-20-8）で、開かれています。原稿や創作ノート、愛用の品々をはじめ、15歳から亡くなるまでを過ごした杉並との関わりや、家族との日常、作家になるまでの日々にも光を当てています。

この特別展は、12月7日まで開かれています。

作家、有吉佐和子さんが53歳で急逝してから、今年で30年になります。有吉さんは、昭和21年、和歌山から杉並に移り住み、昭和59年に亡くなるまでの38年間を杉並で過ごしました。有吉さんの作品は故郷和歌山を舞台にした作品が有名ですが、「恍惚の人」「不信のとき」「更紗夫人」など杉並を舞台にした作品をいくつも残しています。この特別展では、有吉さんが作品に描いた杉並のまちが地図上に示され、小説の一部とともにわかりやすく紹介されているほか、直筆原稿、万年筆、洋服、着物、茶道具、お雛様など、有吉さんゆかりの品々やパネル写真が50点ほど展示されています。

また、文藝春秋主催の文春文士劇「音菊文春歌舞伎」の舞台で花魁白玉を演じる昭和33年当時の有吉さんの姿をビデオ(提供：文藝春秋)で観ることもでき、多方面で活躍されていた有吉さんの姿が偲ばれます。

所沢市から訪れたという70代の女性は、「ある雑誌の広告で、たまたまこの特別展のことを知りました。有吉さんの作品には、本当に感銘を受けます。このあと、妙法寺にある『有吉佐和子之碑』にも行ってみるつもりです。」と話していました。妙法寺は、郷土博物館より徒歩13分ほどの所にあります（東京都杉並区堀ノ内3-48-8）。

「有吉佐和子歿後30年記念特別展」は12月7日（日）まで開かれています。また、関連行事として「対談」や「講演」も予定されています。詳細は別紙をご参照ください。

―有吉佐和子歿後30年記念特別展―

【 会 期 】12月7日（日）まで
【開館時間】午前９時～午後５時
【休 館 日】毎週月曜日・毎月第３木曜日
（祝日と重なった場合は開館、翌日休館）
【 場　所 】杉並区立郷土博物館（杉並区大宮1-20-8　電話3317-0841）
【観 覧 料】100円（中学生以下は無料）

[問い合わせ先]
杉並区立郷土博物館　℡３３１７－０８４１　担当：西方

杉並区

２６．１１．６
杉 並 区 広 報 課

―「有吉佐和子歿後 30 年記念特別展」関連行事―

◆対談「有吉佐和子とその時代」
川本三郎氏（評論家）、有吉玉青氏（大阪芸術大学教授）
◎日時：11 月８日（土）午後２時～４時

◆講演会「有吉佐和子の東京―描かれた女性たちを視座に―」
宮内淳子氏（近代文学研究者）
◎日時：11 月 22 日（土）午後２時～４時

いずれも…　◎会場：郷土博物館２階視聴覚室
◎定員：60 名（先着順）
※午後１時より受付にて整理券を配布します。

［問い合わせ先］
杉並区立郷土博物館　℡３３１７－０８４１　担当：西方